

社会資本総合整備計画

平成29年3月8日

計画の名称	氷見市沿岸部における防災対策の推進							変更回数	4		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	氷見市						
計画の目標	津波災害時に浸水が想定される市街地に隣接した高台の避難場所として、朝日山公園の整備を行い、沿岸部における総合的な防災対策の推進を図るとともに、安全で身近に利用できる都市空間を提供する。公園施設の長寿命化と計画的な改築・更新を図るため、公園施設の長寿命化計画を策定する。										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 避難収容人員を10,000人から12,000人に増やす。 氷見市の都市公園の長寿命化計画策定公園数を、0公園から5公園にする。 										
定量的指標の定義及び算定式	公園の供用開始面積÷1人当たりの占有面積			定量的指標の現況値及び目標値			備考				
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)					
	避難収容人員			10,000人	11,000人	12,000人					
	長寿命化計画策定実施公園数			0公園	5公園	5公園					
全体事業費	上段:計画	合計 (A+B+C)	227百万円	A	195百万円	B	0百万円	C	32百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	14.1 %
	下段:実績		227百万円		196百万円		0百万円		31百万円		13.7 %

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市都市計画・コミュニティデザイン応援課において事後評価を実施。	平成29年3月
	公表の方法
	氷見市役所ホームページにて公表、都市計画・コミュニティデザイン応援課窓口にて閲覧を実施

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業										上段:計画	下段:実績					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	氷見市	直接	氷見市	都市公園事業(朝日山公園)	園路、広場、駐車場等5.3ha	氷見市							187	
1-A-2	公園長寿命化	一般	氷見市	直接	氷見市	公園長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定 5公園	氷見市							8	
														7		
									合計						195	
															196	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
									合計						0	
番号															備考	

C 効果促進事業								上段:計画						下段:実績			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27	H28			
1-C-1	施設整備	一般	氷見市	直接	氷見市	斜面保全事業	植栽 2.5ha	氷見市							26		
														25			
1-C-2	施設整備	一般	氷見市	直接	氷見市	老朽施設更新事業	休憩施設等	氷見市						5			
														5			
1-C-3	施設整備	一般	氷見市	直接	氷見市	連絡道路整備事業	連絡路	氷見市						1			
														1			
									合計						32		
															31		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
1-C-1	災害時における斜面土砂の流出を防ぐため、既存樹木の樹勢回復や植栽等を行うことにより、公園地盤の安定化を図る																
1-C-2	老朽化した施設の更新等により、公園利用者の安全性の向上を図る。																
1-C-3	連絡路整備により、避難住民の円滑な誘導を図る。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 氷見市全域の避難施設として指定されている朝日山公園の整備・規模拡大を行った結果、災害時の収容可能人数が2,000人増加した。 長寿命化計画を予定したとおり、5公園分策定し、目標値を達成した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標① 避難収容人員	最終目標値	12,000人	目標値と実績値 に差が出た要因	-
		最終実績値	12,000人		
	指標② 長寿命化計画 策定実施公園 数	最終目標値	5公園	目標値と実績値 に差が出た要因	-
		最終実績値	5公園		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 高台に位置する同公園への連絡道路を整備することによって、避難場所へのアクセスが改善し、特に津波災害への防災機能の向上を図ることが可能となった。 朝日山公園には、大規模なイベント広場の他、園路、公衆トイレ、駐車場を整備したことによって、これまでより利便性が向上するとともに、人々が集える環境を創出できた。 朝日山公園をはじめとする市内5箇所(ふれあいの森、十二町湯水郷公園、氷見運動公園、島尾海浜公園)において、公園長寿命課計画の策定を行ったことで、より安全に公園を利用するための方針が固まった。 傾斜地の斜面保全を行うことで、地すべりなどの危険性を低下させることができた。 園内の老朽化した遊具を再整備することで、安全に安心して公園を利用できる環境が整った。 			
3. 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> 今後、整備された公園を日常的に利用する仕組みづくりを行うとともに、有事の際には防災機能を発揮できるよう、整備された公園を活かして、訓練場所として活用する必要がある。また市民に対しても、同公園が避難場所であることを周知することも合わせて行っていく必要がある。 					

市街地整備

計画名称	氷見市沿岸部における防災対策の推進		
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	氷見市
<p>朝日山公園基本計画平面図</p> <p>1-A-1 都市公園事業(朝日山公園)</p> <p>1-C-2 老朽化施設更新事業</p> <p>1-C-1 斜面保全事業</p> <p>1-C-3 連絡道路整備</p> <p>1-A-2 公園長寿命化計画策定</p>			